

第 695 回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議題 —

「日本人妻 大原芳子さんの場合
～北朝鮮帰国事業と新潟～」

令和 5 年 12 月 29 日（金）午前 5 : 55～6 : 50 放送

令和 6 年 3 月 28 日

BSN新潟放送

第 695 回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 令和 6 年 3 月 28 日 (木) 午前 11 : 00～

2. 開催場所 6 F 会議室

3. 委員の出席

○委員側出席者 (敬称略・順不同)

委員長	馬 場 省 吾	副委員長	佐 藤 元
委員	渡 邊 信 子	委員	大 橋 未来子
委員	佐 野 哲 郎	委員	三井田 由 香
委員	高 橋 信	委員	石 坂 智恵美
委員	馬 場 幸 夫		

○放送事業者側出席者

社 長	島 田 好 久	常務取締役	五 十 嵐 幹 史
編成局長	井 上 智 美		

<説明員> 報道制作局 テレビ制作部長 吉井一善

4. 議 題

1 報告事項 令和 6 年 4 月のテレビ・ラジオ単発番組・新番組について

2 審議番組 「日本人妻 大原芳子さんの場合～北朝鮮帰国事業と新潟～」
令和 5 年 12 月 29 日 (金) 午前 5 : 55～6 : 50 放送

5. 議事の概要

島田社長のあいさつに続き、編成局からの報告事項説明の後、「日本人妻 大原芳子さんの場合～北朝鮮帰国事業と新潟～」(令和 5 年 12 月 29 日放送)についての審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見～

- 北朝鮮帰国事業とは何だったのか、当時の朝鮮半島情勢を踏まえ、実態に迫る優れた番組だった。
- 日本側の当時の事情や国策に対しての言及も織り込めばよかった。
- 北朝鮮帰国事業はついこの間の出来事。子供の頃、朝鮮の方を揶揄する歌を意味も分からず歌っていた。今でも思い出されるほどに刷り込まれている。とても恐ろしいことだ。
- 番組の雰囲気とナレーション（朗読）が合っていない。CMもマッチしていない。
- もう少し多くの方が視聴できる時間帯で放送してほしい。是非再放送を。
- ラジオの音声と写真・モノクロの映像。たくさんの方々の不遇の運命が照らし出され、衝撃的だった。
- 地上の楽園と謳われた北朝鮮に93,000名以上の方が希望を抱いて渡られたという事実は、知らなかっただけに驚きしかない。
- 新潟県民は、重いテーマのこの番組にどれくらいの方が興味を示したのか気になった。学生や若い人にも見てほしい番組。
- 番組を拝見し、北朝鮮と日本をつなぐ唯一の港が新潟であることに納得した。
- 北朝鮮に渡った大原さんの手紙では、本当の実情はわからない。せめて家族一緒に暮らしてほしい。
- 今回の番組はBSNのアーカイブのなせる業。

～新潟放送 報道制作局テレビ制作部 吉井一善より～

貴重なご意見をいただきありがとうございます。92才の小島晴則さんや88才の町田貢さんといった生き証人の方々にインタビューができ、また、JNNネットワーク大賞を受賞でき貴重な機会に恵まれた番組となりました。ラジオの音源や65年前のフィルム映像など弊社にアーカイブがなければ作ることができない番組でした。子どもころ朝鮮人を揶揄する歌があったこと、街頭インタビューで得られる情報もあったのでは？というご意見はとても参考になりました。大賞をとったことでネットワーク局で再放送してもらえるので楽しみです。

【文責：番組審議会事務局】